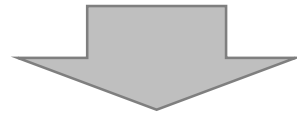


名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅間）の今後について

- | | |
|---------------|---------------------------|
| 1. 今後の協議について | これまでの協議
今後に向けての協議 |
| 2. 名鉄広見線の現状 | 名鉄広見線の利用者数推移 |
| 3. 可児市民アンケート | 可児市民アンケート結果抜粋 |
| 4. 今後の鉄道の利用促進 | 名鉄広見線（犬山駅～新可児駅間）の利用促進に向けて |

これまでの協議

- H19年度 名鉄より、沿線市町に対し名鉄単独での路線維持が困難の申し出。
- H20年度 御嵩町、八百津町、可児市による対策協議会の設立。
- H21年度 「名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅間）の運営に関する協定書」を3市町、名鉄の4者で締結。
- H22年度 年間1億円（御嵩町7,000万円、可児市3,000万円）を運営費として補助（以降毎年）。
- R4年度 3市町、名鉄、国、県による勉強会（会議体）を設置する旨の合意書を締結。
現協定により、R5～7年度については、従来スキームで運行継続。
- R5年度～ 名鉄広見線勉強会においてR8年度以降の当該区間の運営スキームなど鉄道のあり方について協議。
（※R6.5月には、名鉄から改めて現行スキームでの運営は困難の申し出あり）



今後に向けて

名鉄広見線（新可児～御嵩駅間）の線区のあり方について、「みなし上下分離方式による鉄道存続」か「鉄道廃止・路線バス転換」のどちらかとしていたものを、沿線3市町として「**みなし上下分離方式による鉄道存続**」を選択し、**名古屋鉄道株式会社との協議**していきます。

ただし、**鉄道存続が決定したわけではなく**、今後、沿線3市町は名古屋鉄道(株)との協議を行うとともに、**費用負担等についても3市町で協議を引き続き行っていく**（次ページQA参照）。

I. 今後の協議について

今後の協議に向けての補足事項

Q. 質 問

A. 回 答

「名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅間）の運営に関する協定書」の協定期間が令和7年度末までとなっているが、令和8年度以降の鉄道存続が決定したということか。

現時点で鉄道存続が決定したわけではない。

今後4者でどのような協議が行われるのか。

4者においては、みなし上下分離方式とする場合の設備投資計画や上下の費用負担の考え方、運行期間等の詳細について検討・協議を進めていく。
3市町ではそれを踏まえた沿線3市町の負担割合、活性化に向けた計画の内容等を検討していく。

鉄道廃止・バス転換の可能性はなくなったのか。

今後の協議によるため、可能性はゼロではない。

今までどおりの活性化の取組も継続していくのか。

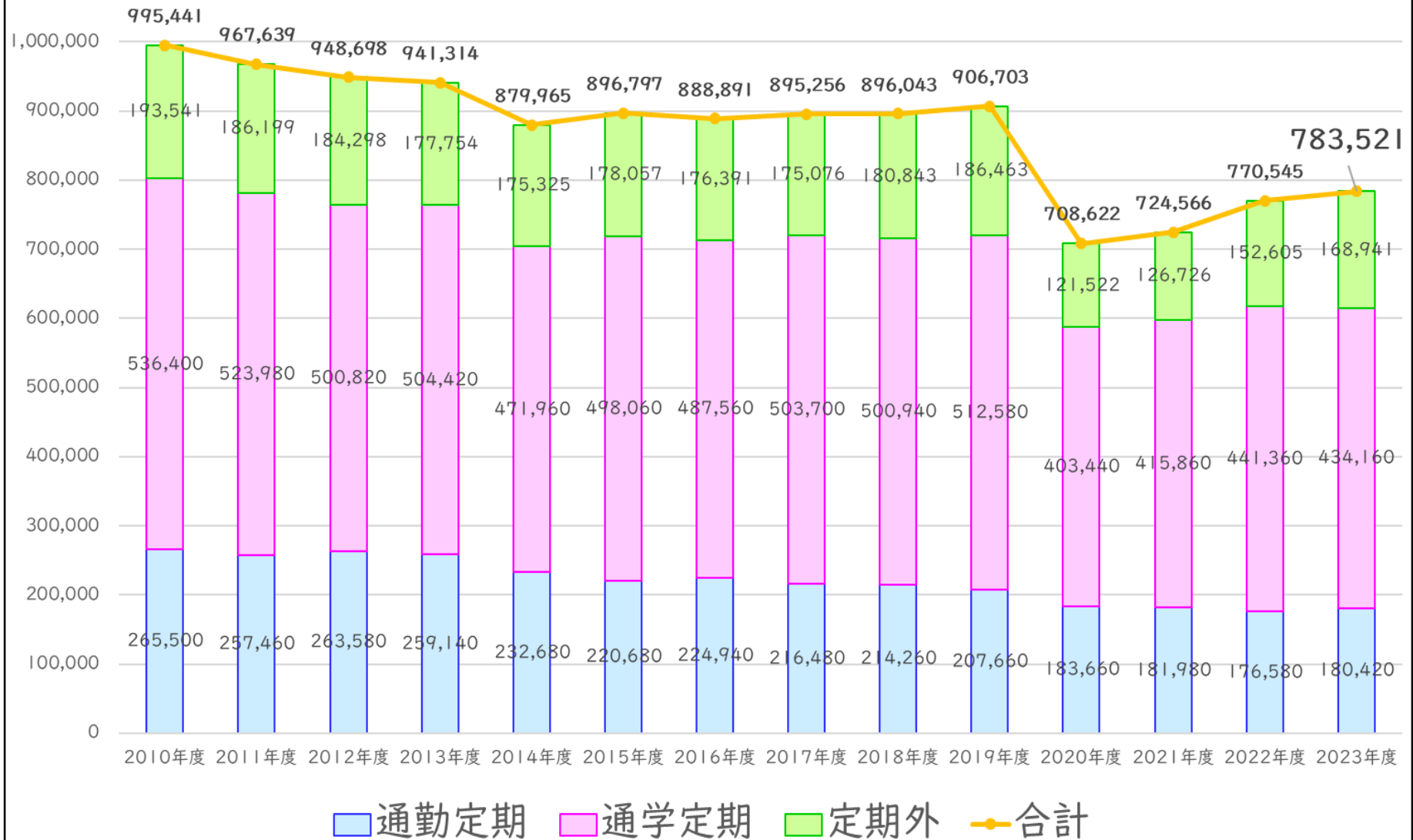
鉄道存続が決定すれば、今まで以上に鉄道の利用促進及び鉄道を活用したまちづくりに連携して取り組み、輸送人員の確保及び持続可能な地域づくりを目指す必要があると考えている。

みなし上下分離方式への事業構造の変更にあたり、鉄道事業再構築事業の活用を念頭にしているのか。

鉄道事業再構築事業の適用を目指す。

2. 名鉄広見線の利用者数推移

広見線の利用状況の推移



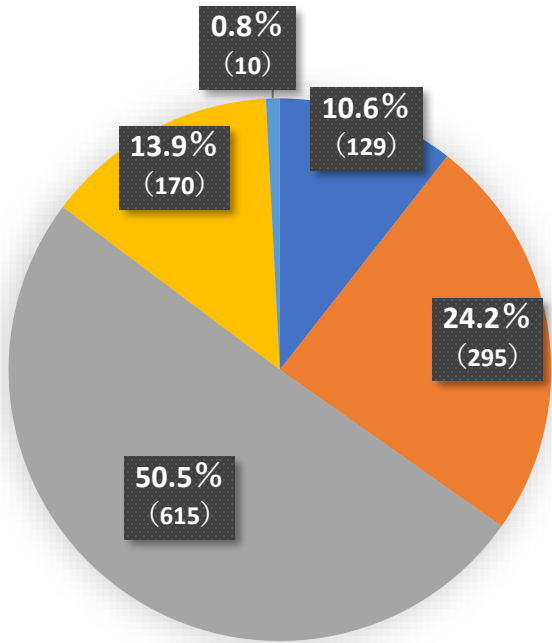
3. 名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅間）に関する市民アンケート調査

【市民アンケート調査概要】

- ・ 調査期間 5/15～5/26
- ・ 調査数 3,000
- ・ 回答数 1,219 （Web回答530、郵送等689）
- ・ 回答率 40.63%

「運行支援をやめて、市民ニーズの高い行政サービスを充実させるべき」が50.5%で一番多い。

当該線区の今後のあり方について



- 今まで以上の運行支援を支出してでも存続
- 現状の運行支援金以下で存続すべき
- 運行支援をやめて、市民ニーズの高い行政サービスを充実させるべき
- その他
- 無回答

その他の内訳

運行存続	39
バス等代替交通機関の整備	86
給付金・減税等の他の行政サービス	9
廃線でよい	10
判断できない	26

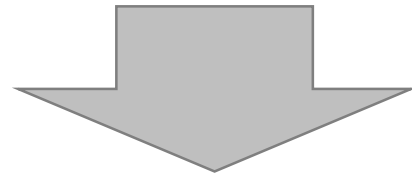
3. 名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅間）に関する市民アンケート調査

当該線区の今後のあり方について（年代別）														
今後のあり方	20歳未満		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳～64歳		65歳以上	
存続 （現行以上支援金）	3	23.0%	6	6.1%	10	7.6%	17	6.4%	50	15.5%	15	9.8%	27	11.8%
存続 （現行以下支援金）	2	15.4%	29	29.6%	30	22.7%	56	21.2%	73	22.6%	35	22.8%	68	29.7%
運行支援をやめて市民 ニーズの高い行政サー ビス充実	4	30.8%	52	53.1%	78	59.1%	141	53.4%	154	47.7%	82	53.6%	104	45.4%
その他	4	30.8%	10	10.2%	14	10.6%	49	18.6%	42	13.0%	18	11.8%	30	13.1%
無回答	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	1	0.4%	4	1.2%	3	2.0%	0	0.0%
合計	13	100.0%	98	100.0%	132	100.0%	264	100.0%	323	100.0%	153	100.0%	229	100.0%

4. 今後の鉄道利用促進に向けて

名鉄広見線（犬山駅～新可児駅間）

名鉄広見線（犬山駅～新可児駅間）は、可児市における公共交通の基軸となる。市民生活や来訪者において必要不可欠の移動手段であり、名古屋都市圏への交通アクセスは当市の魅力の一つで、これを維持していくことは重要である。



犬山駅～新可児駅間に関しても、利用促進に向けた取り組みを推進するとともに、現在、協議中の新可児駅～御嵩駅間において沿線市町と連携し活性化に引き続き取り組む。